

# 地域おこし協力隊の活動日記

飛騨市内で活動している地域おこし協力隊。市内に存在するさまざまな地域資源を活用し、地域の特徴を活かした産業の創出を図ります。



都市部 海外への飛騨の魅力発信  
隊員 森口 明子

## 飛騨市の皆様、こんにちは！

飛騨市地域おこし協力隊として飛騨古川で2年弱の間お世話になりました森口明子です。2015年6月、飛騨の神々しい山の存在や飛騨びとに惹かれて東京から移住しましたが、この3月をもちまして協力隊を卒業することになりました。

これまでの活動では、世界中から建築家やデザイナーなどを飛騨市に呼び

込み、デジタルと木工の融合で新しいものづくりの可能性を模索し、地域おこし協力隊の使命である「地域資源の活用と産業の創出」に取り組んできました。おかげさまで、色々な成果と可能性が見えてきたので、今後はヒダクマの社員として、広葉樹の価値化、組み木や木工の新しい形の模索に動んで行く予定です。引き続き飛騨市でがんばりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひします。

【外部の建築家やデザイナーを呼んで未活用の広葉樹を使った家具作り】

昨年末から今年の3月にかけてヒダクマでは、市と森林組合、市内の木工職人さんと一緒に、未利用の広葉樹を活用する取組を行いました。そのために都心から数組の建築家やデザイナーを招待し、市で広葉樹を扱う製材、木工房、家具メーカーなどを訪問し、市民の皆さんが使えるような家具のアイデアを出し合いました。それぞれのデザインが出揃い、飛騨の木工職人さんへお願いし、試作品が完成、3月20日のシンポジウムでお披露目しました。

これらは市に納品され、公共空間で活用される予定です。また、カナダから

デザイナーインレジデンスで2週間飛騨市に滞在していた Jason と Karen も木育の一環で彫刻のできるベンチを開発しました。ぜひ活用いただければ本人達も喜びます。

【6月、海外4大学の学生を迎え3週間のデザイン合宿開催】

昨年に引きつづき海外3大学と国内3大学、約30人が参加するデザイン合宿の第2弾を開催します。今年は5月28日から6月19日の約3週間、海外4大学と国内の学生が参加予定です。プログラムでは、林業、製材、木工、人工知能などについて、各分野の専門家から知見と技術を享受し、実験を繰り返して試作品を作ります。期間中はオープンなのでぜひお気軽にお立ち寄りいただき、得意なことを教えていただければ嬉しいですね。彼らの若い発想や、外からの視点が入ること、未来へ繋がる種が生まれると期待しています。

## 【最後に】

飛騨に移り住み、地域内外の活動を通じて見えてきた価値が多々あります。それは、飛騨市には多くの可能性の粒があること。広葉樹の森という資源

それは、建築や木工製品やエネルギーに、美味しい水や林産物が採れ、森自体は憩いの遊び場となります。

そして木工―飛騨の匠の技術は世界に誇れるものですが、活用してこそ受け継がれていくものです。伝統の知恵と技術を現代のそれらと掛け合わせることで後世に続く価値が生まれると信じています。それは、これまでに滞在した建築家が Fabrice にあるデジタル機器を使い、従来の木工技術では成し得なかったような斬新なデザインを産み出していることから明らかです。私自身日本人のDNAを持つ人間として、ここ飛騨市から、先人が生み出した価値を後世につながる価値に更新していくワクワクのプロセスを世界中に広げていきたいと思っています。

どうぞ今後ともご指導宜しくお願ひします！

